



2019 : KEEN EFFECT

西表島の「明日」のためにツーリストも一緒に考え行動するプロジェクト

“Us 4 IRIOMOTE” 始動。

屋根のないところすべてを「KEENと共に楽しむ場所」と考え、アウトドア・フットウェアブランド「KEEN(キーン)」を展開するキーン・ジャパン合同会社(本社:東京都港区・ジェネラルマネージャー・日本法人代表:竹田尚志)は、環境保護・社会貢献活動を「KEEN EFFECT(キーン・エフェクト)」とよび、さまざまな活動を行っています。沖縄県八重山郡竹富町に属する、豊かな自然に恵まれた西表島の「明日」のために行動するプロジェクト『Us 4 IRIOMOTE (アス・フォー・イリオモテ)』を2019年4月15日に本格的にスタートします。



西表島の明日のために私たちができる、4つのこと。「知ろう」「守ろう」「話そう」「残そう」

西表島で自然保護に取り組む人たち、文化を継承する人たちと共に「知ろう」「守ろう」「話そう」「残そう」の4つのキーワードを軸に、「明日」のために、**私たち**ツーリスト一人ひとりができることを考え、行動してゆく、『Us 4 IRIOMOTE (アス・フォー・イリオモテ)』プロジェクトを発足し、企業、団体の枠組みを超えた展開をしていきます。

【名前の由来】

Us=明日・私たち、4=4つ。西表島の明日に私たちができる、4つのこと。

Us 4 IRIOMOTEにおける4つのキーワード「知ろう」「守ろう」「話そう」「残そう」。

西表島の自然や生態系・文化を「知る」ことからはじめ、アクションを起こして「守り」、みんなで「話し」、未来に「残し」ます。



知ろう

西表島の自然環境と生態系に配慮した歩き方、そして伝統的な生活文化を知ろう。



守ろう

ルールとマナーを守って豊かな海、山、川と、そこに暮らす野生生物たちを守ろう。



話そう

西表島の自然の素晴らしさ、今ある課題、文化の継承について島の人たちと話そう。



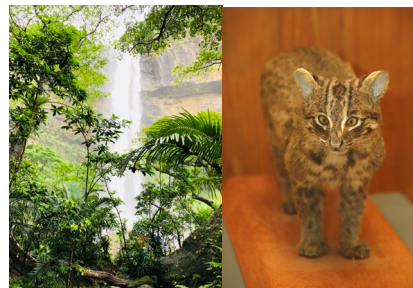
残そう

自分が何ができるかを考え、後世を担う子どもたちへ豊かな自然と文化を残そう。

## 豊かな自然と独自の伝統文化をもつ西表島（いりおもてじま）を次世代に継承するために。

東京から約5時間、約2,000km南西に位置する沖縄県八重山郡・西表島。面積は約289km<sup>2</sup>(東京23区全体の約1/2)、その大部分が国立公園に指定されています。西表島だけにわずか100頭程が生息する、絶滅危惧種「イリオモテヤマネコ」を始めとした亜熱帯の動植物が生息する原生林や、国内最大の面積を誇るマングローブ林など、稀有で豊かな自然と生態を保有しています。

また、西表島の魅力を語る時、数百年続く伝統文化も忘れることはできません。季節の節目に催される祭事は、500年にわたり自然と共存して生きてきた、西表島の人々の大切な文化です。特に、節祭(シチイ)は、重要無形文化財にも登録されています。



## 私たちツーリスト一人ひとりができることを考え、行動してゆく

このように、魅力が詰まった西表島は、人口約2,400人程に対し、近年約30万人/年を超える観光客が訪れる人気の観光地です。ピーク時にはオーバーツーリズム状態になり、その影響で「イリオモテヤマネコの交通事故の増加」や「植生・生態系ダメージ」なども懸念されるようになりました。また、今、西表島は来年度の世界自然遺産の候補地としても名を連ね、登録後にはさらなる観光客の増加が見込まれ、それによるオーバーツーリズムの進行が懸念されています。この貴重な自然の姿を次世代へ守り、伝えていくために、ツーリストである私たち一人ひとりにも、この事実を知り、学び、考え、行動することが求められています。

### ▼Us 4 IRIOMOTE 主な活動

- 1) 啓蒙活動: ツーリストにむけ、「エシカル・ツーリズム」を提唱 (詳細: 3ページ参照)
- 2) 動物・自然保護を展開する団体を支援 (詳細: 4ページ参照)
- 3) 西表島ドキュメンタリー映画の制作 (詳細: 6ページ参照)

### ▼Us 4 IRIOMOTE 基金を設立

2019年4月に発売するKEENの新作『UNEEK EVO(ユニーク エヴォ)』の売り上げの10%を始め、協賛企業、個人寄付、クラウドファンディングやチャリティグッズの販売などを通じて基金を集め、Us 4 IRIOMOTEの活動に活用していきます。

### ▼チャリティ商品の展開について

#### 1) Us 4 IRIOMOTE の活動に活用されるフットウェア『UNEEK EVO』

2本のコードと1枚のソールで編み上げられたオープンエア・スニーカー『UNEEK(ユニーク)』に、エンジニアードニットを取り入れた最新モデル『UNEEK EVO(ユニーク エヴォ)』を2019年4月12日(金)より発売。

イリオモテヤマネコの柄をモチーフにした“IRIOMOTE”パックの売り上げの10%をUs 4 IRIOMOTEに活用いたします。



UNEEK EVO “IRIOMOTE” パック (13,000円/税別)

(カラー: 左から Star White/Raven、Blue Mirage/White、Petrified Oak/Raven)

#### 2) Us 4 IRIOMOTE オリジナルマイボトル&Tシャツ

イラストレーター・長場雄が手掛けるキービジュアルを配したチャリティグッズを制作。売り上げの一部がUs 4 IRIOMOTEに活用されます。2019年4月下旬よりKEEN オフィシャルサイトおよびSORA 石垣店にて販売。(取扱い店は増える可能性があります)



マイボトル 4,500円(税別) 2色展開



Tシャツ 3,500円(税別) 5イラスト  
ホワイト・ブラック・オリーブ 3色展開

## 【補足資料】活動詳細

### 1) 啓蒙活動：ツーリストにむけ、「エシカル・ツーリズム」を提唱

#### 「エシカル・ツーリスト」になろう！

近年、浸透してきている考え方「エシカル消費」。私たちが享受する、モノやコト。それらを作っている人にも、自然環境にも配慮されているかを見極め、選択すること。そうすることで、私たち一人ひとりが、社会的課題の解決に貢献していくという考え方です。その考え方を“旅”に当てはめるとき、観光によって地域に起こる課題に目を向け、現地の自然環境や文化にリスペクトを持って観光するスタイルを「エシカル・ツーリズム」と呼び、Us 4 IRIOMOTE は提唱していきます。

#### ▼全国を巡って 各地で環境教育を！

YMCA やボーイスカウトも採用しているグローバルな野外活動の環境配慮プログラム『LNT(Leave No Trace)』の普及活動を行う野外指導者養成団体『WEAJ』のインストラクターが、軽トラックに乗って日本全国をめぐる。 (現在大手自動車メーカーと協議中)



#### ▼みんなで拾ってみんなでつくる 530(ごみゼロ)アート・プロジェクト。2019年5月30日スタート！

旅先へ行き、ただ楽しんで帰ってくる“旅のカタチ”。もし、一人ひとりが意識を高く持ち、現地でなにかひとつ「いいこと」をして帰ってきたらどうでしょう？西表島にある、一見すると美しく見える砂浜にも、小さなゴミがたくさん混じっています。「530アート」とは、観光で訪れる私たちが「できる範囲」でゴミを少しずつ持ち帰り、石垣港離島ターミナルに設置するアートスタンドに入れていくことでゴミを“アート”にしよう！というプロジェクト。アート展示には多言語で西表島の漂着ゴミについての解説を設け、国内外からのツーリストにこの問題について知っていただく訴求を行います。





## 2) 動物・自然保護を展開する団体を支援

### パートナー団体との活動

#### ▼絶滅危惧種イリオモテヤマネコを守る「JTEF トラ・ゾウ保護基金 やまねこパトロール」

Us 4 IRIOMOTE の活動：パトロール隊員を増員、地域住民への啓蒙活動を実施。交通事故防止対策をパワーアップします。

国の天然記念物で、絶滅危惧種に指定され、世界で西表島だけに生息する希少種イリオモテヤマネコは、種の存続ぎりぎりの100頭ほどと推測されています。入島者の増加に伴い、交通量が増え、それと比例するようにイリオモテヤマネコの交通事故も増加しています。2018年は事故件数9件と、過去最悪を更新してしまいました。

「やまねこパトロール」は、野生動物保護のために活動するNPO「JTEF トラ・ゾウ保護基金」の西表島支部とし活動を展開。イリオモテヤマネコを事故から守るため 夜間パトロールを実施し、ドライバーへの注意喚起やヤマネコが路上に餌付く原因となる小動物の死骸除去など、地道な活動を行っています。



交通事故の被害に遭ったイリオモテヤマネコ



交通事故が起きた場所にはこのような看板がある



やまねこパトロールが行っている夜間パトロール

#### やまねこパトロール



国の天然記念物で、絶滅危惧種に指定されるイリオモテヤマネコ。NPO『JTEF トラ・ゾウ保護基金』が2016年に開始した『やまねこパトロール』は、生息状況調査、保護活動、島の子どもたちへの環境教育などを行っています。

オフィシャルサイト：<http://www.jtef.jp/iriomoteshibu.html>

#### ▼人と自然が共生する島を目指して活動を展開「NPO 法人西表島エコツーリズム協会」

Us 4 IRIOMOTE の活動：環境保全の啓蒙活動を展開します。

自然環境や文化的資源を地域住民とともに保全することで、観光業を始めとする産業が活発化し、地域経済にとっても良い循環が生まれ、それが住民に還元されていく。守り受け継ぐべき事を守り、時代と共に進化をしながら、環境問題や文化継承に取り組む団体です。地域住民への自然環境保全、文化伝承などの啓蒙活動や、ビーチクリーンを定期的に行う。ビーチクリーンでは、多くの地域住民と共に、海流に乗って漂着した多くのペットボトルや発泡スチロールなどのゴミを「八重山環境ネットワーク西表エコプロジェクト」と協働で回収。ビーチの環境整備を行っています。



西表島の子ども連に環境について学ぶ機会を



西表島の海岸には、多くの漂着ゴミが



ペットボトルや、プラスチックゴミが大部分を占める



#### NPO 法人西表島エコツーリズム協会

人と自然が共生する西表島をめざして、「人と豊かな自然が密接にかかわりあっている暮らし」がいつまでも続いていくことを目指し様々な活動を行っています。

オフィシャルサイト：<http://iriomote-ea.com/>

## ▼環境配慮プログラム『LNT』を展開「NPO 法人 Wilderness Education Association Japan」

Us 4 IRIOMOTE の活動： 野外活動の環境配慮プログラム“LNT”の普及を通じて「エシカル・ツーリスト」を増やします。

WEAJ(Wilderness Education Association Japan)が日本で広める野外活動の環境配慮プログラム『LNT(Leave No Trace)』は、北米で生まれた環境配慮プログラムです。アメリカの National Park や Forest Service をはじめ、アウトドアサービスを提供する多くの公的機関や大学、野外教育団体、環境教育団体などで実施されているプログラムで、自然を利用するすべての人が環境に対する責任をもち、楽しく利用するためのアウトドアを楽しむ 7 つの原則を学ぶことができます。



### Wilderness Education Association Japan (WEAJ) | LNT



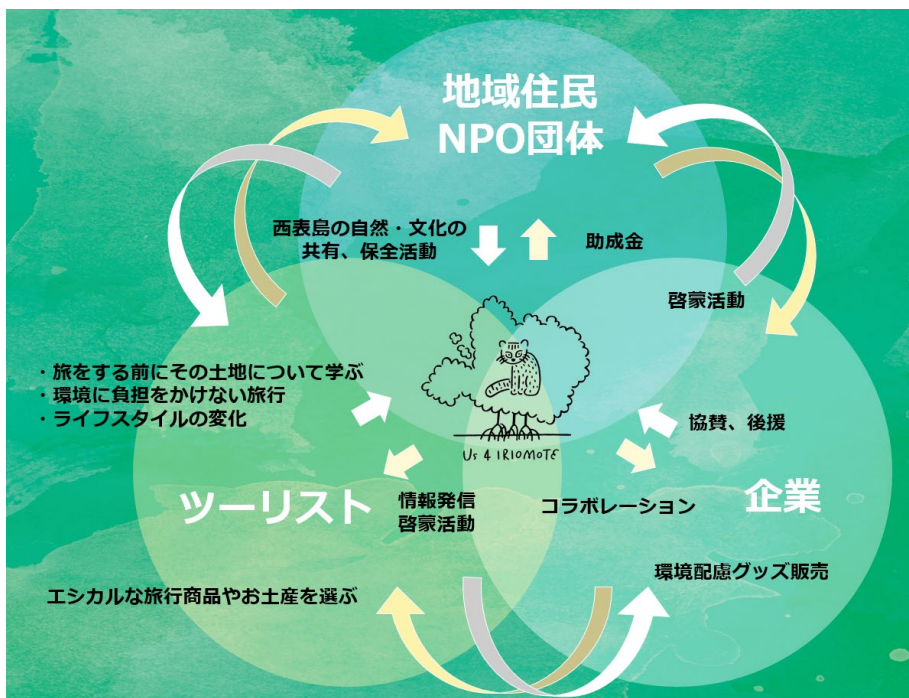
2013 年に設立した野外指導者養成団体「WEAJ」は、野外活動の環境配慮プログラム『LNT(Leave No Trace)』を日本に広める活動を行っています。LNT は、自然を利用するすべての人が、環境に対する責任をもち、楽しく利用するための環境配慮プログラム。WEAJ は米国「LNT Center for Outdoor Ethics」の加盟団体で、国内でLNTプログラムの普及をオフィシャルに行う団体です。  
オフィシャルサイト:<http://weaj.jp/>



## ▼Us 4 IRIOMOTE×パートナー団体、パートナー企業との今後の活動予定

1. シンポジウム「これからのヤマネコ保護にもとめられること」を開催（4月14-15日 | やまねこパトロール）
2. やまねこパトロール隊員を増員（順次実施 | やまねこパトロール）
3. 西表島で活動するガイド向けの講習会を実施（5月29日、30日 | 西表島エコツーリズム協会×WEAJ）
4. ツーリスト向けのLNTをワークショップ開催（KEEN 直営店および、フェスティバル会場など | WEAJ）
5. 子供向け環境ワークショップの開催（夏実施予定 | 西表島エコツーリズム協会）
6. エシカルツアーの展開（今秋スタート予定 | 平田観光）

## ▼パートナーシップで明日の西表島をつくろう



SDGs とは、2015 年 9 月に国連加盟国 193 ヶ国によって採択された「持続可能な開発目標」です。人間、地球および繁栄のために 2030 年までの行動計画として、17 の目標と 169 のターゲットから構成され、「誰ひとり取り残さない(no one will be left behind.)」ことを誓っています。Us 4 IRIOMOTE は、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて行動していきます。





### 3) 西表島ドキュメンタリー映画の制作

## 2020年公開予定 ドキュメンタリー映画

### ▼仲程長治氏が切りとる、うつくしい西表島の景色

土が香り、自然の生命を感じる力強いこれらの写真は、写真家・仲程長治(なかほどちようじ)氏の作品。現在、同監督によるドキュメンタリー映画を制作中。美しい西表島の四季を通し、島の文化を継承する石垣金星・昭子夫妻をはじめ、島の文化や自然を守る人びとを追うドキュメンタリー映画です。(2020年公開予定)



### 監督/撮影



#### 仲程長治 | Choji Nakahodo

シネマトグラファー

1959、沖縄県八重山郡石垣市字石垣(石垣島)生まれ。

島生まれ、島育ちならではの視点と独特の美的感覚が高く評価され、国内外で写真展覧会を開催。

2017年冬より開催されている「やんばるアートフェスティバル」では総合ディレクターに就任。

2018年4月に開催された「第10回沖縄国際映画祭」では、初監督作品「Nyaha! Part#0」が上映された。

多岐に渡る活動のテーマは「琉球・沖縄の陰翳美」。島独特の「色」と、身近な自然から得るインスピレーションを、グラフィックデザイン、カリグラフィ、写真、映像等で表現し続けている。

オフィシャルサイト:<https://www.chojinet/>

### 主な登場人物



#### 石垣金星 | Kinsei Ishigaki

郷土史家・伝統芸能継承者

1946年 西表島・祖納生まれ。1968年より中学校教師として勤務し、1975年に退職。島興し運動の中心的存在として自然を汚さない完全無農薬米の稲作に力を注ぐ一方、石垣昭子と共に「紅露工房」を開設。日本でいち早くエコツーリズム協会を立ち上げ、環境を重視した島の在り方を提唱。島に伝わる昔話、古謡、歴史、手仕事の技術などの数少ない継承者でもあり、2006年、西表に伝わる古謡を収録した『西表民謡誌と工四』を出版。「西表島エコツーリズム協会」顧問、「西表の未来を創る会」会長。



#### 石垣昭子 | Akiko Ishigaki

染織家

夫の石垣金星と共に西表島に「紅露工房(くーるこうぼう)」を開設。島の植物による伝統的な染織の復興に取り組む。伝統行事「節祭」の衣装を復活させ制作を続けるなど、島の伝統文化、技術継承の為に尽力する。98年、テキスタイルデザイナー真木千秋、真砂三千代とブランド「真南風(まーばい)」を発表。99年、MOMAのジャパンテキスタイル展に出品。

紅露工房:<http://kuurukoubou.wixsite.com/riomote/about>

### 4)WEB サイト制作・instagram アカウント開設

オフィシャルサイトと公式instagramアカウントを開設。「知ろう」「守ろう」「話そう」「残そう」の4つのキーワードを軸に情報発信いたします。

オフィシャルサイト Us 4 IRIOMOTE:[www.us4iriomote.org](http://www.us4iriomote.org)

公式instagram: @us4iriomote #us4iriomote